

令和3年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第七小学校 第5学年

	授業における課題や学力調査資料から見た課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な知識・技能(漢字・読解)を定着させること。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいことを明確にして文章を書かせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の漢字を用いた文章作りをさせたり、家庭学習で課題を出して取り組みせたりし、学期末に合格するまでテストを行う。</li> <li>学習の中で、文型を示し、当てはめて文章を書く練習を繰り返し行い、表現の仕方に慣れさせる。行事の取り組み後に、自分の思いをもちやすく、書きやすい題材で作文を書かせ、「書くこと」への抵抗感を減らす。</li> </ul>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字のテストでは、8割以上の児童が、合格点を取ることができた。短文作りの際には、既習の漢字を使うことを意識させることで、漢字の定着に繋がった。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行事の際には、作文の型を示したことで、書くことへの抵抗感を減らすことができ、目的が明確な文章を書かすことができた。また、型以外の自分の考えや思いを書けない児童がいるので、対話をしながら自分の考えに気付かせるなどの指導を今後行う。</li> </ul>
社会	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図や写真、グラフなどから適切な情報を得て、必要な事柄をまとめること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフや表の読み取り方について、視点を与え、必要な情報を取り出しやすくさせる。</li> <li>他教科の学習とつなげ、グラフや表の読み取り方の指導をして資料の読み取る練習を繰り返し行う。</li> </ul>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料を全体に提示して、読み取りの視点や読み取りの一部を紹介することで、必要な情報をまとめる力を高めることができた。</li> </ul>
算数	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小数や大きな数での基礎的な計算の確実性を上げること。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決への思考過程を、伝わりやすいように表現させること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝自習や家庭学習、授業の導入の時間を活用して、繰り返し演習を行う。</li> <li>自らの考えを発表・検討する場面を多く取り入れ、発表の仕方を工夫する。また、友達の良い表現方法を必ずノートに記録させ、表現の仕方に慣れさせる。</li> </ul>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小数や大きな数を用いた計算については、まだまだ習熟が必要である。2割以上の児童が苦手としている。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを相手に伝えるための表現を意識させ続けることにより、抵抗感はなくなり、思考過程を整理する力を身に付けさせることができた。</li> </ul>
理科	<p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予想や仮説を立て、解決方法を導き出すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予想を立てるときの視点を明確にし、自分の生活経験も踏まえながら考えさせる。</li> <li>比較するための手順や問題解決学習の仕方を指導する。</li> </ul>	<p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実生活での事象を話題にあげ、予想を立てることで多様な考えを引き出すことができた。比較の手順やポイントを示すことで、正確に解決法を見付けることができた。</li> </ul>
音楽	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりについて理解させること。</li> <li>音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が感じ取った曲想を基にししながら、リズムや旋律、声部の重なり方の特徴、歌詞の内容に目を向けさせるようにする。</li> <li>児童の実態を十分に考慮し、優しいリズムや旋律の演奏から徐々に難易度を上げるなど、継続的に取り組むようにする。</li> <li>動画を活用し、正しい楽器の奏法を学べるようにする。</li> </ul>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音色や響きに気を付けながら合奏する技能を身に付けることができた。タブレットを活用して見本演奏を見せ、正しい楽器の奏法を示したことは有効だった。</li> <li>曲想と歌詞の内容とのかかわりについて理解させることが不十分だった。歌詞に目を向けさせながら歌唱指導する必要があった。</li> </ul>
図画工作	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全に活動するための指導と環境を整えること。</li> <li>色の組み合わせや濃淡を使い分けて、表したいイメージにあった表現方法を選ぶこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵の具の基本的な使い方や、濃淡、色の組み合わせの例示をする。</li> <li>制作工程に合わせてそれぞれ場を設定し、スムーズに制作が進むようにする。</li> <li>課題の難易度を調整して、より多くの子供が作品を時間内に完成できるようにする。</li> </ul>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師が場を設定し、活動の場を確保することで子供が安全に活動できるようになった。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学ぶ力(向かう力)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供に絵の具の混色を復習させたり、隙間の時間にワークシートを使ったことで、子供び形や色使いの幅を広げることができた。</li> </ul>
家庭	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裁縫で日常生活に必要な基礎的な技能を定着させること。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題を解決するために、実践方法を考えさせたり、友達に伝え合わせたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携を図り、裁縫や調理の仕方について保護者の支援を得ながら、学校と双方で協力をして学習を進めていくようにする。</li> <li>グループ学習を積極的に取り入れ、裁縫や調理の仕方について、友達同士で互いに教え合う時間を設ける。</li> </ul>	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手縫いの学習では、手順を理解し、基本的な技能を定着させることはできた。また手縫いを手際よく繰り返し行う時間を確保することができたので、今後は長期休業中にトライカードを使って、調理実習以外にも、家庭にも協力してもらい、すべての児童が技能を高めていく。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自らの課題を解決するために、グループ学習を取り入れたことは有効だった。グループごとの目標や達成状況を確認することで、教え合う姿が見られた。</li> </ul>
体育	<p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動きや技のポイントやコツを見付け、自分の課題を解決させること。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力、人間性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の心身の健康への関心を高めさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットで動画撮影をするなど自分の動きを確かめられる工夫をする。</li> <li>グループでの活動を積極的に設定し、互いに動きや技の様子を見合い、アドバイスをし合うようにする。また、課題別に場を変えるなどの場の設定を工夫する。</li> <li>自分の体のことに興味をもたせ、安全に活動することの大切さを理解させる活動を取り入れる。</li> </ul>	<p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の始めに動画を視聴させて、動きのこつやポイントを示すことで、見るべき視点を明確にすることができた。またその視点で動画撮影を行ったり、グループで教え合ったりすることで、自分の動きを見直すきっかけとなった。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力、人間性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの運動で使う部位の説明をしながら、準備運動をすることで、安全に活動することの関心を高めることができた。今後とも授業前に運動の危険な行動について示し、安全指導の徹底を行っている。</li> </ul>
外国語	<p>&lt;学びに向かう力、人間性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近で簡単な事柄について、積極的に外国語を用いて話したり聞いたりさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「間違ってもいい。とりあえず声に出してみる」といった雰囲気づくりを心掛ける。</li> <li>聴覚だけではなく視覚を使って会話文の型を提示することで、安心して話せる環境づくりをする。</li> </ul>	<p>&lt;学びに向かう力、人間性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話の練習には、発表原稿を事前に書かせて活動したり、発表を聞いた人の名前や内容を記入させることで、積極的に話したり聞いたりさせることができた。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもち、表現させること。</li> <li>多様な考えに触れ、ねらいとする価値について自分の考えを深めさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートなどを活用し、自分の考えをもち、書く時間十分確保する。</li> <li>ペアやグループで話し合う場面を多くし、多様な考えに触れられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもち、表現をすることができるようになった。個人で考える時間を十分にとったことは有効だった。また多様な考えに触れさせるために、グループや学級全体で共有する場面を設定することは、有効であった。</li> <li>「ねらいとする価値について自分の考えを深めさせることが難しい場面もあった。今後とも、より道徳的価値を自分のこととして考えられるような発問を用意する。</li> </ul>
総合的な学習の時間	<p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要なことを調べ、調べた情報を整理・分析し、自分の伝えたいことを取捨選択してまとめさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べる前に調べたいことを明確にさせる。インターネットの情報を丸写しにして調べ学習を終えないように、本やインタビューなど多様な取材方法ができるようにする。</li> <li>自分の言葉でまとめ、表現できるように、簡単な言葉に直したり、文章を削ったりして書くなど、書き方について指導する。</li> </ul>	<p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や対象を明確にすることによって、必要な情報を調べさせることはできた。自分の言葉でまとめることについては、友達と見合ったり、修正する時間を設けるなどして、より自分の言葉で伝える指導が必要であった。</li> </ul>

※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。